

## 学生等に向けた取り組み予定

## 【北陸地方整備局】

## ①現場見学会の予定

⇒『北陸地整がススめる！現場見学ガイド』で代表的な現場見学会を紹介

## ②出前講義の紹介 ⇒「地域のものがたり講座」

## ③インターンシップ受け入れ予定

対象学生：技術系（土木・機械・電気通信・建築）を学ぶ学生・生徒

募集期間：例年5月上旬～6月上旬で受け付け（※HPで募集案内）

実習期間：概ね7月10日～9月30日の期間中で調整

※約1、2週間とし、実習生（学校）の要望を考慮し決定

実習場所：北陸地方整備局管内の事務所等25箇所のうち希望する場所

※平成26年度は10事務所で17名受け入れ。

新潟港湾空港技術調査事務所、信濃川下流河川事務所、新潟国道事務所、  
長岡国道事務所、信濃川河川事務所、高田河川国道事務所、金沢河川国道事務所、  
金沢港湾・空港整備事務所、黒部河川事務所、千曲川河川事務所

実習内容：別紙1

## 【富山県】

## ○土木系学生のインターンシップ受け入れ予定

- ・ 期間：各年度8月～9月の間の1週間又は2週間
- ・ 実習内容：実習先の土木センターにおける土木行政
- ・ 受け入れ可能人数：富山県内4土木センター×各2名（4×2）の8名程度
- ・ 受付時期：各年度4月～（先着順）
- ・ 担当窓口：土木部管理課管理係

※平成26年度実績 7名

### 【日本建設業連合会北陸支部】

- ・ 小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」については、毎年実施することとしています。また、見学現場については、6月に検討し選定することとしています。
- ・ 今後も「市民現場見学会」を学生にも参加を呼びかけ実施することとしています。また、見学現場については、7月頃に検討し選定することとしています。

### 【(一社) 富山県建設業協会】

- ・ 学生を対象とするインターンシップ事業については、年間をとおして受け入れを要請している。

### 【(一社)建設コンサルタント協会北陸支部】

1. 例年実施している新潟大学農学部からの要請に基づく出前講座を実施する予定  
 昨年の講義の内容
  - ・ 「建設コンサルタント業界と自然環境に関する仕事の概要」
  - ・ 「自然環境調査などの事例 土木に生態学の知見」
  - ・ 「トキの野生定着と地域振興に向けて」
  - ・ 「人とトキとの共生に向けた農村づくり」(グループ討議及び発表)
2. 支部管内の各高等学校へ「支部作成の「建コン PR 動画」のチラシ」を配布し、管内の高校生に対して建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る予定。  
 ・ ・ ・ 別紙「チラシ」及び「シナリオ」のとおり
3. インターンシップについては、以下のとおり

#### ◆インターンシップの受け入れについて

(1) 今後、インターンシップを受け入れる予定はありますか?    ある **18社**(新潟10社、富山3社、石川5社)    なし **2社**(新潟0社、富山1社、石川1社)

(2) 「ある」と回答した会社は、インターンシップの受け入れ対象学校はどこかお聞かせ下さい。

高校生 **0社**    **大学生** **16社**(新潟10社、富山1社、石川5社(内大学院1社))    ・ 高校生と大学生の**両方**を対象 **3社**(富山2社、石川1社)    ・ その他( )

(3) 「ない」と回答した会社は以下にその理由をご記載下さい。

・ インターンシップ受け入れには、受け入れ側も企画・対応するための人的な余力が必要となるため。

【(一社) 富山県測量設計業協会】

現時点で学校へ向けての広報活動を協会としては把握していません。

インターンシップは、数社が実施しています。27年度の計画は今のところ未定ですが、たぶん計画が決まった段階でサイトの方に掲載されると思います。インターンシップは企業側に応分の負荷がかかります。できれば時期を合わせて実施したいのですが、学校や学生の都合で日程が定まらないのが現状です。応募者が全くない年度もあります。開催時期を産学で決めればよいと思います。

高校生の将来の進路を決めるうえでの、職業体験（高校版の14歳の挑戦）が企画できればと思います。協会で受け付けて会員企業の中から受け入れ可能な会社を順次紹介する。

一部企業では、県立大学の「企業を知る木曜日」に参加し、業務内容の具体や業界のことなどをテーマに講演を行っています。学生からは、業務の具体的な例を聞くことで、やりがいや興味がわいたなどの感想がありました。

協会として学校（大学・高校・中学）を対象に現場見学会や職場体験などを受け入れることは、日常に何気なく利用している道路や橋、また目立たないところで暮らしの安心や安全を守っている施設などが、目的を達成するために測量や設計を経て建設されているという事を知ってもらう為に、必要な取り組みだという認識は常にあります。しかし、担当部署や手続きなどが分からないのが現状です。学校からの依頼があれば即座に対応していますが、県全体として体制が整備されればと思います。

## 平成26年度 受入事務所一覧表

所在地	事務所	職種	人数	時期	期間	テーマ	実習内容							
山形県	西置賜郡小国町	飯豊山系砂防事務所	1	8月下旬～9月上旬	1週間	飯豊山系の砂防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磐梯朝日国立公園内など豊かな自然環境との調和を目指した砂防事業(大暗渠型砂防堰堤、スリット化取組みなど、魚道の調査)を学ぶ</li> <li>・全国初の砂防堰堤を活用した水力発電(クリーンエネルギー)の取り組みを学ぶ</li> <li>・地域一番の観光資源である飯豊連峰登山道など調和を図った砂防事業(梅花皮沢等の砂防堰堤群)の体験、土石流危険渓流対策に係る工事監督の体験</li> </ul>							
								村上市	羽越河川国道事務所	2	8月下旬～9月下旬	2週間	清流荒川とその上流に位置する横川・大石ダム及び日本海東北自動車道の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年に水質日本一“清流荒川”の河川巡視及びダムの管理実務</li> <li>・東北地域に安全安心なサービスを提供する“日本海東北自動車道”(高速道路)の道路管理実務</li> </ul>
								新潟港湾空港技術調査事務所	2	8月中旬～8月下旬	2週間	国際物流の拠点として重要な港湾施設の設計	我が国の貿易(輸出入)に必要不可欠な国際物流ターミナル(港湾施設)の役割及び設計方法の習得	
														新潟地方整備局 営繕部
								新潟市	信濃川下流河川事務所	1	8月下旬～9月上旬	2週間	信濃川下流域の治水事業 ～信濃川下流、新潟海岸の取り組み～	
														新潟市
								新潟国道事務所	1	7月中旬～8月中旬	2週間	新潟の背骨を支える大動脈「新潟バイパス」の道路管理	全国有数の交通量(1日10万台以上)を支える新潟バイパス等の道路管理業務(パトロールや補修・修繕)の現場実務を体験	
														新潟市
								新潟市	長岡国道事務所	1	8月下旬～9月上旬	2週間	新潟中越地域の道路事業	
長岡市	信濃川河川事務所	3	8月上旬～9月下旬	2週間	日本一の大河信濃川流域の治水事業 ～災害から地域住民の安心・安全を守り続ける取り組み～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃川の流量をコントロールし、越後平野を洪水から守り続けている大河津可動堰を始めとした大規模河川管理施設を見て役割を学ぶ</li> <li>・河岸段丘から扇状地、氾濫原へと地形の変化に富んだ信濃川での河川パトロールを体験</li> <li>・重なる浸水被害の軽減を図るため、国・県・市の3者が一体となって整備を進めている柿川放水路事業における樋門工事の工事監督を体験</li> </ul>								
							新潟市	国営越後丘陵公園事務所	2	7月下旬～8月下旬	2週間	国営越後丘陵公園の利用状況調査と利用促進計画の検討	年間入園者数が2年連続50万人を超える、日本海側唯一の国営越後丘陵公園における調査計画業務	
上越市	高田河川国道事務所	2	7月下旬～9月下旬	2週間	上越地域の河川事業及び道路事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害常襲地帯の関川と、国内屈指の急流河川である姫川における河川整備、河川管理の実務</li> <li>・天下の険「新不取」を含む国道の防災点検の実務</li> <li>・今年は「高田開府から400年」。城下町高田のなりたちと「道」や「川」との関わり等についての検討業務</li> </ul>								
							南魚沼市	三国川ダム管理所	1	7月上旬～9月下旬	2週間	三国川ダムの堤体観測	地域に開かれたダムとして多くの方が訪れる三国川ダム(ロックフィル)の堤体観測の実務と資料とりまとめ業務	
湯沢町	湯沢砂防事務所	2	8月下旬～9月下旬	2週間	被災地の復興を支え、地域の安全・安心を守る砂防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を土砂災害から守る砂防設備に関わる工事監督の体験及び測量設計の体験</li> <li>・中越地震からの復興に貢献した芋川流域における砂防設備の点検体験</li> <li>・我が国最初期のアーチ式砂防堰堤 大源太川第1号砂防堰堤(登録有形文化財)の補強対策の検討業務</li> <li>・環境に配慮した砂防事業を進める為の、環境調査(魚類、植物等)実施</li> </ul>								
							石川県	金沢河川国道事務所	1	7月中旬～8月中旬	2週間	石川県の治水事業 ～梯川及び手取川の河川、砂防、ダム、海岸の取り組み～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小松天満宮付近などの河川改修事業の必要性を学び、工事監督などを体験</li> <li>・急流河川手取川の工事監督及び河川パトロールを体験</li> <li>・全国的に極めて希な高山地域での大規模地すべり対策における現地調査及び工事監督体験</li> </ul>	
石川県	金沢河川国道事務所	1	7月中旬～8月中旬	2週間	石川県の道路事業 ～直轄国道の整備・管理の取り組み～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光都市金沢市街地での道路パトロールの実施</li> <li>・能登半島の発展に寄与する国道470号七尾水見道路等の大規模工事における工事監督体験</li> </ul>								
							石川県	金沢港湾・空港整備事務所	1	7月中旬～8月上旬	2週間	金沢港大水深岸壁事業の計画と施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢港で建設している大水深の岸壁事業における計画実務(計画に関する資料取りまとめ)</li> <li>・高度な技術力が必要とされる棧橋の鋼管杭打設の現場実務(工事監督補助など)</li> </ul>	

別紙1(資料6)

所在地	事務所	職種	人数	時期	期間	テーマ	実習内容
富山県	富山市	土木	1	7月中旬～8月上旬	2週間	伏木富山港の物流機能に関する調査	伏木富山港と中国・ロシアなどの港との物流について、貨物などの特徴を整理すると共に、伏木富山港での物流の今後のあり方を取りまとめる。
	高岡市	土木	1	7月中旬～12月下旬	1～2週間	富山県の河川の特性を考慮した河川事業～常願寺川の整備・管理～	日本一の急流河川である常願寺川において河川パトロール等を通して急流河川の特性及び新たな河岸防護工の考えを学ぶ
富山県	高岡市	土木	2	7月中旬～9月中旬	1週間	富山県の道路事業～直轄国道の調査計画から工事、維持管理業務～	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県内の直轄国道の計画着手から工事進捗に向けた流れを学ぶ</li> <li>能登地域と三大都市圏(東京・大阪・名古屋)を結ぶ七尾水見道路(氷見市灘浦～脇)の工事現場監督を体験</li> <li>高規格幹線道路、山間部、市街地、海岸部と多様な直轄国道の道路パトロール等の維持管理</li> </ul>
	黒部市	土木	2	7月下旬～8月上旬	1週間	黒部川の治水事業～黒部川流域の河川、ダムや下新川海岸の取り組み～	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本でも屈指の急流河川である黒部川の河川巡視実務</li> <li>全国でも侵食の激しい海岸として有名な下新川海岸の海岸巡視実務</li> <li>直轄ダムでは初めてとなる土砂を排出する排砂設備を有する宇奈月ダムでの点検作業の実務</li> <li>各事業における工事現場での実習</li> </ul>
福井県	砺波市	土木	2	7月下旬～8月下旬	1週間	利賀ダム工事事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とともに築く安全・安心を考える利賀ダム建設事業について学ぶ</li> <li>地域住民の生活を支える生活再建道路の工事監督を体験(下島大橋施工プロセス検査等)</li> <li>山間部で急斜面な地形の工事を肌で感じる(これまで実施したトンネル、橋梁工事等の事例)</li> </ul>
	敦賀市	土木	1	7月下旬～8月上旬	2週間	敦賀港の外郭施設(防波堤)の築造工事	敦賀港に入る波を遮る防波堤(総延長1,330m)について、築造の最終段階における現場実務(工事監督補助など)
長野県	長野市	土木	1	7月中旬～8月下旬	1週間	千曲川・犀川の流量観測及び環境調査	日本一の幹川流路延長(367km)をほこる信濃川の上流部に位置する千曲川・犀川において <ul style="list-style-type: none"> <li>河川整備の目的を、工事現場を見て回り理解する</li> <li>流量観測を実際に行い取りまとめる。またデータが何に使用されるか理解する</li> </ul>
	松本市	土木	1	7月下旬～8月中旬	2週間	北アルプス地域の砂防施設の計画設計	3,000m級の高山が連なる北アルプスから流出する膨大な土砂を起因とする土砂災害から国土を守る砂防事業の調査設計の実務
福島県	大田市	土木	1	7月中旬～9月中旬	1～2週間	高瀬川下流域の安全を守り環境に配慮したダム管理	ダムの安全性及び機能を長期的に保持するための施設点検巡視環境に配慮したダム放流効果の調査検証(水文観測)気象状況とダム管理諸量についてとりまとめ比較傾向検証
	会津若松市	土木	2	7月下旬～8月下旬	2週間	会津地域を潤す阿賀川流域の治水事業～阿賀川・大川ダムの工事・管理～	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿賀川下流域河道拡幅事業や阿賀川弱小堤防対策事業の効果や学び工事監督を体験する</li> <li>堤防点検、河川巡視及び河川法許認可の実務</li> <li>大川ダムの効果及び管理の実務を学ぶ</li> </ul>